

帯広病院 21-4111
 柳町医院 30-3111
 白樺医院 38-3500
 ケアセンター白樺 41-1165
 白樺在宅総合センター 41-1167

十勝勤医協 友の会ニュース

医療法人 十勝勤労者医療協会

帯広市西9条南11丁目1番地

0155-21-4718

発行責任者 今野 光昭

URL: http://www.tokachi-kin-ikyo.or.jp
 E-mail: soshiki@tokachi-kin-ikyo.or.jp

秋の大運動を国民健康に押しよせ

民医連十勝ブロック職員と十勝勤医協友の会は、9月から毎年恒例の「秋の大運動」に取り組んでいます。安倍自公政権の下、社会保障総改悪の進行とその表裏の関係で進む、安保法制・共謀罪な

かけがえのない日本国憲法をまもろう

「人間らしく生きる権利の最大の破壊者である戦争をなくすための9条。戦争の最大の原因である貧困と格差をなくすための25条。この憲法の実現できるような世の中にしていきたい」「共謀罪が通過し、日本が戦争するための準備がじわりじわりと進んでいる気がします。自分の子どもに『赤紙』が来て、戦争には行かせたくありません。平和な世の中を守って行きたい」「勤医協が憲法を大事にしているのは、民医連綱領に憲法が生きているから。定年まで変わらぬ勤医協で、患者さん、

どに見られる「戦争する国づくり」への道。私たちが求める、平和で社会保障が充実した国を選ぶか、戦争する国を選ぶか、その選択が迫られています。

戦後70年以上にわたって、日本が海外で戦争をしてこなかった大きな根拠は、憲法第9条の存在です。

戦後70年以上にわたって、日本が海外で戦争をしてこなかった大きな根拠は、憲法第9条の存在です。

安心して暮らし続けられるための社会保障拡充を求めて

来年4月から国民健康

もありません。

保険の財政運営を市区町村から都道府県に移す制度改革に向けた動きが進んでいます。住民が負担する国民健康保険料の大幅アップの試算などが明らかになり、不安が広がっています。高すぎる国保料を払いきれない世帯が相次ぎ、必要な医療が受けられない人が後を絶たないことがこれまでも問題になって来ています。

Aさん50代男性は、1週間前から腹痛と微熱があり、保険証を持っていないため市販の薬を飲んで我慢していました。痛みに耐えきれず、無料低額診療を行っている勤医協帯広病院のことを知り、受診することができましたが、腸の破裂の疑いもあり、手遅れになる恐れ

6年前まである会社に勤め社会保険に加入していましたが、その後独立して個人で事業を営んでいました。その時点で国民健康保険証の対象でしたが、前年までの収入で保険料が決まるため、とても支払える保険料ではありませんでした。使えるお金は月三万円程度、血圧の薬をインターネットで購入したこともあり、風邪薬も売薬ですませ、病院に受診することができずにいました。

このように社会保険加入者が何らかの理由で離職しても、国保料が高額なため、保険に入らないケースが増えています。

政府は2012年の社会保障制度改革推進法の成立以降、社会保障費の

国保料の滞納世帯は15%にも及んでいる
(速報値=2016年6月1日現在)

全世帯数	滞納世帯数	短期被保険者証		資格証明書		
		%	%	%	%	
1968万7099	312万4953	15.9	98万1964	5.0	203万604	1.0

(出所：厚生労働省保険局国民健康保険課調べ)

抑制を強行しています。人口の高齢化の進展に伴う社会保障費の自然増も抑制し続け、低所得者に重い負担を強いる消費税10%引き上げも予定されています。医療、介護、福祉、障害、生活保護、ならびに教育・子育て分野においても、制度が毎年縮小・改悪され、国民の中には不安と困難が広がっています。

格差と貧困の広がりは大きな社会問題になっており、憲法25条に明記されている国民の生存権を保障するのは国の責任です。「不平等」を拡大する政策は直ちに中止すべきです。貧困をなくし、誰もが安心して生き続けられる地域づくりのために、社会保障制度の拡充を求めて行きましょう。

聴診器

▼早朝、友の会ニュースの配達中のことだった。突然ポケットのスマホから聞きなれない警告音が聞こえてきた。

北朝鮮からミサイルが発射され、方角として北海道から東北各県の名が並び、近くの頑丈な建物へと避難先が示されても、まわりにそんなものは無い。どうせ北海道は対象外、たろうと無視したら、次の情報 came。えりも岬の上空を通過して沖合に落下したと。えりも岬は北海道ではないか▼政府は避難対策として、国民には「地下か頑丈な建物へ」「地面に伏せて両耳を塞ぐ」などと呼びかけているが、なぜか戦時中の竹やり訓練の図を思い浮かべてしまう。しかし笑ってはられない▼国民の危機意識をあまりながら、『疑惑』から国民の目を転じさせ、ここぞとばかりに過去最大の軍事費の概算要求を打ち出した。その額は5兆2551億円の大軍拡である▼他国の喧嘩の一方に加担し、一緒になって武器を揃える。少子超高齢化社会を目の前にした我が国がとるべき道ではない。戦争できる国を目指した「安倍改憲」を阻むことが当面の緊急の課題。国民世論を味方にして。秋の大運動が始まった。(隆)

首相が想定する憲法改正の最短スケジュール

2017年 8月	9条、教育無償化など4項目を議論
秋	臨時国会召集
年内	自民党改憲案を衆議院憲法審査会に提出 臨時国会閉会
18年1月	通常国会召集
3月末	18年度予算成立
夏	憲法改正の国会発議
発議後 60~180日	国民投票
9月	安倍晋三総裁の2期目の任期満了
12月13日	衆院議員の任期満了

も改憲案を具体的な案として、国会の憲法調査会に提案する方向で進めています。憲法9条に自衛隊が明記され

シリーズ

憲法があぶない



「憲法9条」と私

私の父は牧師として派遣されていた満州の新京(現在の長春)に我々と住んでいた。両親、長男17歳、次男15歳、三男13歳と1946年の4月から小学校1年生になる私の6人であった。戦時中のことでキリスト教の宣教活動もままならず、農業をしながら生活の糧を得ていた。次男は、勤労動員として、ソ連と満州の国境にいた。

1945年夏、敗戦近しを知った日本軍は開拓農民や中学校を日本兵と見立て、置き去りにして、後方に撤退してしまつた。8月15日、玉音放送を聞くや否や軍服を燃やし、新しい服に着替えて、何処ともなくいなくなつてしまつた。それから、中学生130名、教師7、8名が、親元に戻るまでの145日間に及ぶ逃避行は、長く

辛いものだったに違いない。更に、周囲の人々が、ぞくぞくと帰国の途につくのに、我が子の安否もわからず、心配と不安の気持ちを抱いて待ち続ける家族の心は張り裂けんばかりであつたであろう。

私たちは中国の人々に迷惑をかけたにもかかわらず、親切にしてもらい助けられたことも数多い。戦争は誰が良い悪いではなく、戦争そのものが悪である。

私たちの国、日本は、軍国主義のもとに多くの罪を犯した。近隣諸国への殺戮、略奪、迷惑な被害を与えたことへの反省と謝罪から、これらを再び繰り返すことのないように全世界に向けて宣言したのが、日本国憲法であり、憲法9条なのだ。平和な世界を守るために、絶対を守り抜かなければならないと思つている。

【教職員九条の会 小貴 耕喜】

ジャンボリー

全道JBに参加して



今回旭川で開催された全道ジャンボリーに初めて参加して来ました。4月に就職し、院内のジャンボリー活動を色々してきましたが、初めて大きな集まりという事で、緊張感と高揚感で胸が一杯でした。今回のテーマは「HELP」という事で、無料低額診療、地域での取り組みなどを勉強してきました。

特に印象が強かつた事は、無料低額診療では診療は無料になるが、薬代は掛かつてしまう事です。薬代を支払うのが難しい

世帯もあり、無料低額診療はあるが、薬代によつて病院に行けないという事実を知りました。無料低額診療だけではなく、そのシステムの中に薬を入れる事により、多くの命を救えるのではないかと感じました。しかし、このシステムの事を知らない地域住民も多くおり、病院や施設が積極的に呼びかけ、地域連携が必要だと感じました。この2日間を通じて、今後は、多くの人のHELPに気づき、自らHELPを発信できる人になっていきたいです。

【アサセンター白樺理学療法士 滝沢 隆太】



友の会活動交流集会

in 釧路

2017年9月10日(日)〜11日(月)、第14回目となる北海道民医連友の会活動交流集会が釧路で開催され、十勝からは友の会・職員併せて24名、全体では292名が参加しました。

1日目の記念講演は、千葉大学の近藤克則先生より「地域づくりで健康づくり」と題し、高齢者の社会参加による地域づくりとその重要性について科学的根拠を基にわかりやすく説明がされ、また高齢者に高まるポランテアへの期待の背景について詳しく話がされ、地域で活動する役員さん・世話人さんへとても力になる講演でした。次に4つの



では、6つの分科会を8つの会場で開催、各会とも全道各地の様々な友の会活動について報告・意見交換し合い、明日からの活動に活力を得ることが出来る貴重な場となりました。

【本部組織部 池田 大輔】

芽室友の会の活動報告をする梅津美政事務局長分科会に分かれ、「獄中メモは問う」筆者の佐竹氏の取材記録の報告や、北海道民医連の歴史、介護保険制度の見直しの両分野と友の会の役割について、道東勤医協友の会の活動が各会場で開かれ、学びを深めました。

2日目の分科会

帯広病院

胃カメラの休日特診のご案内

11月5日(日) 予約制(午前中)

予約枠には限りがございます。
ご希望の方は、帯広病院へお電話ください。

☎21-4111

※事前の診察が必要な場合がございます。
予約時に職員にお問い合わせください。

あなたと民医連をつなぐ月刊誌

いつでも元気

MIN-IREN

2017 10月号 380円 **好評発売中**

巻頭エッセイ/私のゆるゆる健康観 松尾貴史

特集 私たちの健康づくり

世界に誇る日本国憲法 伊藤千尋

まちづくりのススメ① 助け合い活動

けんこう教室 最後まで口から食べるために

食と健康 おにぎり

発行= 帯保健医療研究所 〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター8階 電話 03(5842)5656(代表) FAX 03(5842)5657

ご購入希望の方は、下記各事務局または連絡会事務局までご連絡下さい。

看護師奮闘記

気になる患者訪問

気になる患者訪問とは、通院中の患者さんが来院した際、問診、診察、処置等関わる業務の中で患者さんの言動や様子を見て気になった患者さんや、病状等でフォローが必要な患者さんの自宅に訪問する事です。柳町医院では、午後の休診の時間を利用して、パート職員を含め全職員で訪問活動を行っています。診療所ならではのフットワークの軽さが自慢です。午前中の診療で気になったら、午後から訪問に行くこともあります。近くは柳町北区の団地から遠くは上土幌までどこへでも行きます。



Aさん：風邪をひいて受診を繰り返しているが、なぜか風邪が治らず看護師は「もしかしたら内服できていないのかもしれない」と思いました。自宅へ訪問したところ、もらった薬をどのように内服したらいいかわからず困っていることがわかりました。訪問時に飲みやすいようにお薬カレンダーにセットさせてもらいました。処方通り内服できるようになり、風邪が良くなりました。



Bさん：問診時に数件の病院から処方された薬の残数が合わなくて困っている事がわかりました。郵便物も病院に持ってきて書類をどのように対応したらよいかわからず相談を受けました。看護師は、「薬や郵便物以外にもたくさんの困りごとがありそうだ」と思いました。自宅へ訪問したところ、薬と郵便物以外にも携帯電話に来る迷惑メールで困っていることがわかりました。数回訪問し、わかる範囲で書類の整理を行い、迷惑メールを解除しました。薬の管理は、専門家の対応が必要と判断し、訪問看護を紹介しました。訪問を繰り返す中で信頼関係が構築し、若いころの写真を見せてもらい、思い出話を聞かせていただく中で生活史を知ることができ、Bさんへの理解が深まりました。訪問に行くと、患者さんの生活状況から課題がわかり必要な医療や介護サービスに繋げることができます。信頼関係が深まり、患者さんとの距離が縮まる事が一番うれしいことです。



【柳町医院 看護師長 樋口 いづみ】

その後、事務長より帯広病院の大運動方針について提起され、取り組みと体制を確認しました。今年度は「地域に足を踏み出し、地域の実態を知り、医療活動とたたかいたい」にすすめよう！をスローガンに据え、①経営改善②まちづくり③学習とたたかいたい④共同組織拡大強化の4つの柱を中心に取り組みます。

目標達成に向けて、病院一丸になって取り組んでいきます。

ケアセンター白樺では8月31日(木)にスタート集会が行われました。12名が参加し、山本事務長より改正介護保険法の中身や9条加憲を中心とした憲法改正の狙いなどの学習と行動提起を行いました。同じ日には在宅総合センターでもスタート集会が開催されています。また、白樺医院で



帯広病院のスタート集会の様子



ケアセンター白樺のスタート集会の様子

は8月17日(木)に開催しています。柳町医院は9月6日(水)に開催する予定です。

各院所で様々な学習などにも取り組みながら、地域の共同組織の方々とも協力し、旺盛に取り組みんでいきます。各院所で大いに運動を盛り上げて、目標達成に向けて盛り上げていきましょう！

病院・老健 秋の大運動月間スタート 各院所でも続々とスタート集会を開催



9月8日(金)、白樺医院では、地域訪問の一環として、無料健康相談会のお知らせと、健康診断のお誘いを兼ねたチラシを作成し、柏林台地域の各家々に、まいて回りました。

白樺医院 白樺医院でチラシ配り

地域に開かれた診療所、地域住民の拠り所となるよう、奮闘中！白樺医院では、患者さんや地域の方々、無料低額診療事業対象患者さんなどを対象に、毎月定例で「地域無料健康相談」を実施しています。

テーマは、医療・介護、診療やお薬についてなど、多数設定し、毎月変わります。どなたでも参加できます。職員の方にも参加をお誘いしていただきますのでお気軽にお越しください。

<10月の無料健康相談の予定>

日時：10月12日(木) 午後3時～4時

内容：「転倒予防の運動」

講師：白樺デイサービスセンターほのか

介護主任・西村 正直さん



